

インフォテリア 事業戦略説明会

2015年7月16日

インフォテリア株式会社

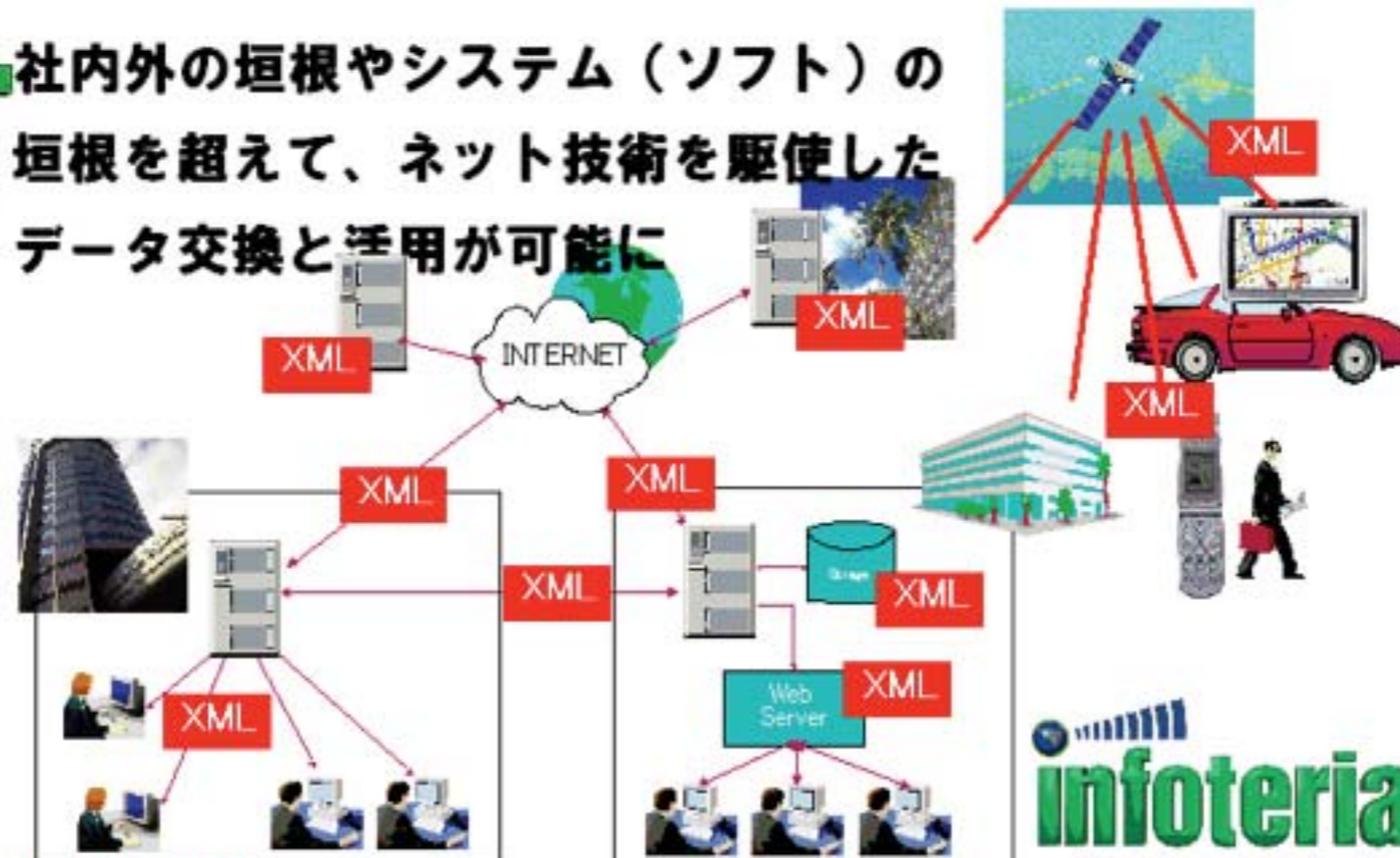
CEO 平野洋一郎

創業 1998

 *The XML world*

XMLのもたらすもの

■ 社内外の垣根やシステム（ソフト）の垣根を超えて、ネット技術を駆使したデータ交換と活用が可能に



STRICTLY CONFIDENTIAL

infoteria
The Information Cafeteria

組織を超えたコンピューティングを
実現するソフトウェアを開発し、
世界規模で提供する。

創業来一貫した製品開発

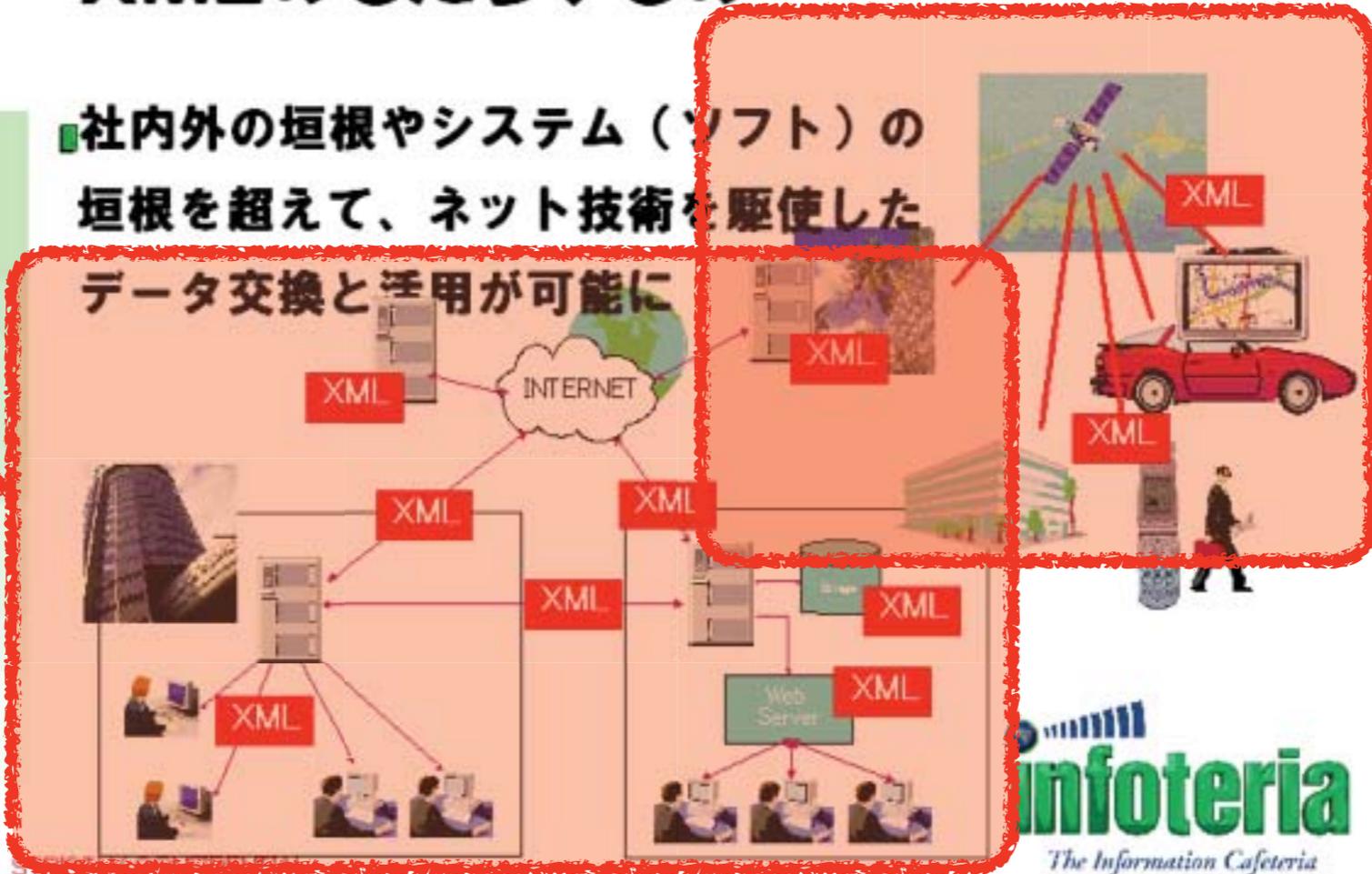
2009



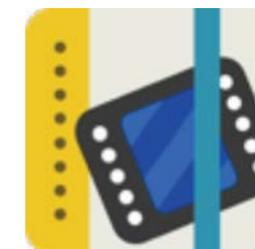
  *The XML world*

XMLのもたらすもの

■ 社内外の垣根やシステム（ソフト）の垣根を超えて、ネット技術を駆使したデータ交換と活用が可能に

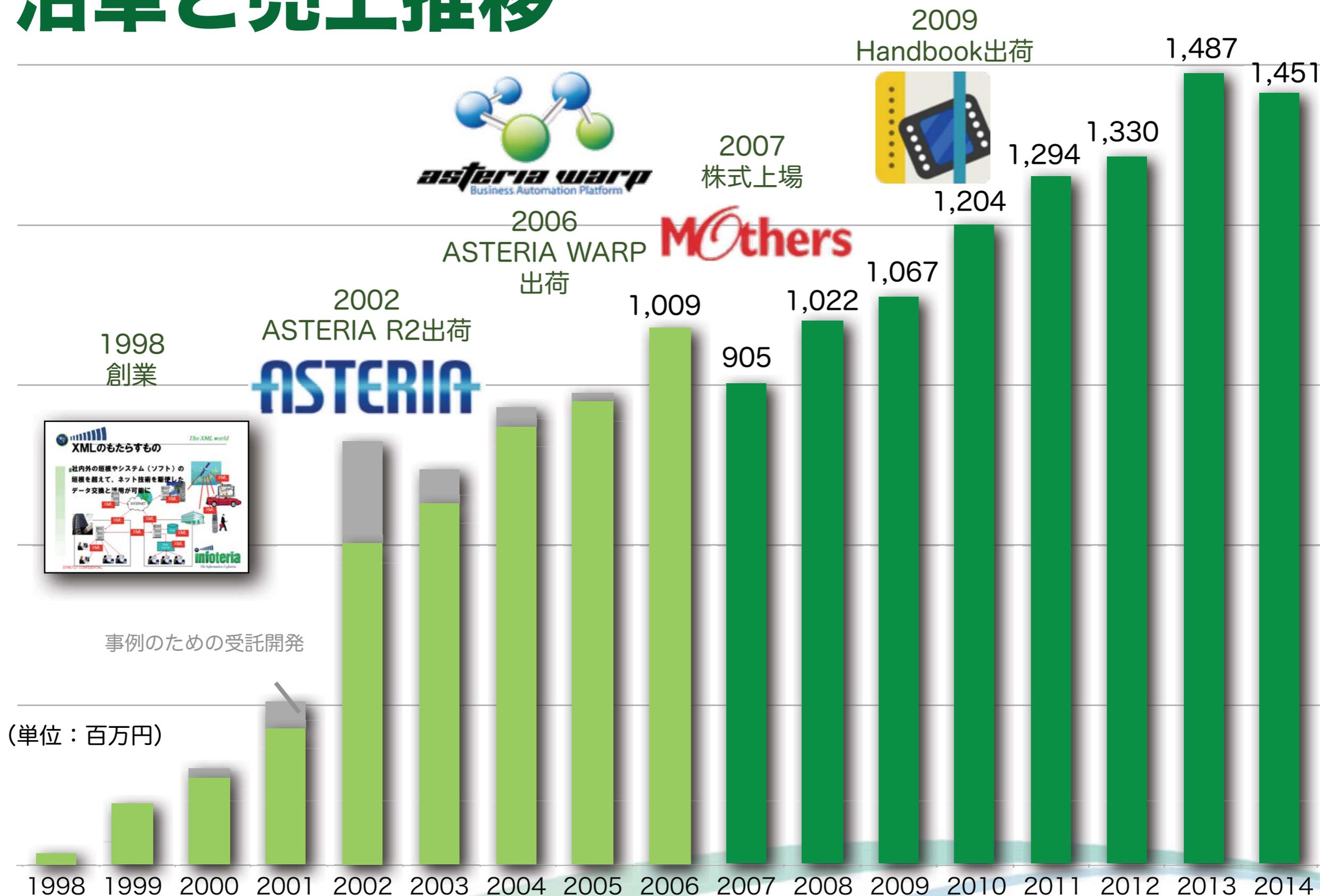


 *The Information Cafeteria*



Handbook

沿革と売上推移



「つなぐ」に特化した製品群

エンター
プライズ
製品

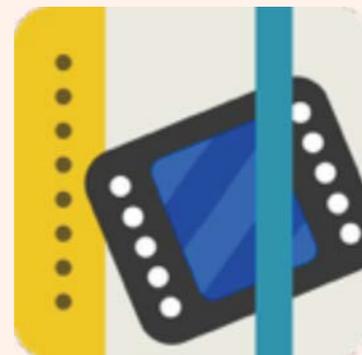


マスターデータ管理



オンライン表計算

ネット
サービス
製品



Handbook

企業内外の情報を
安全に配信、閲覧



”つながる”カレンダー



オンライン付箋

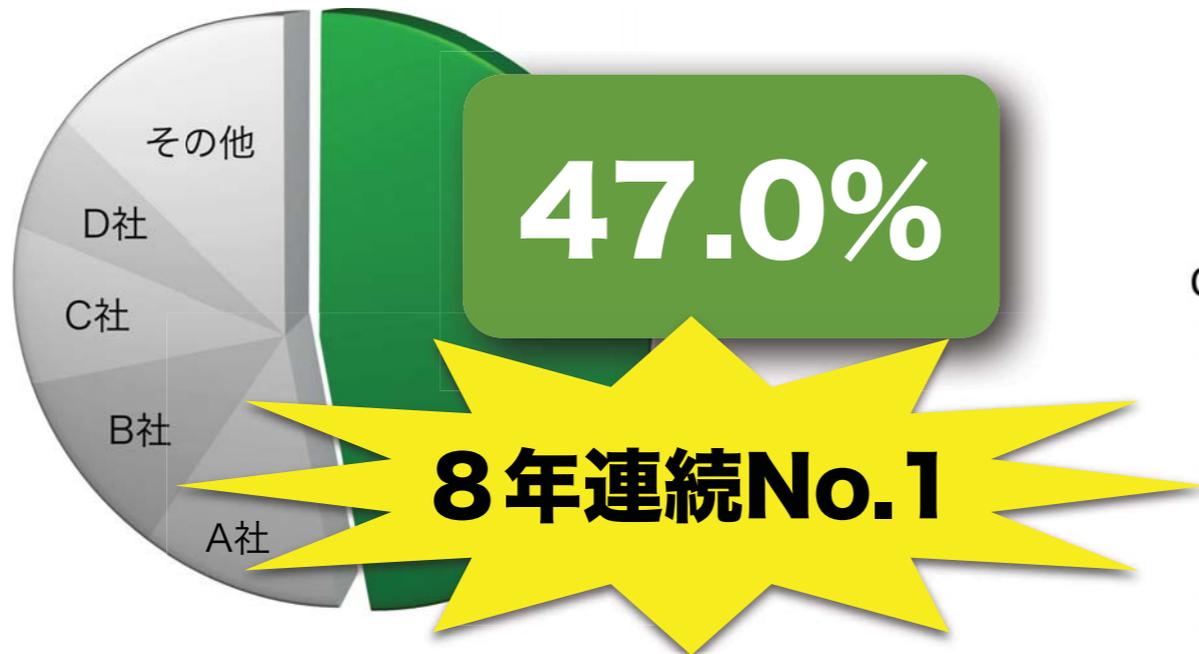
主力製品

2つの主力製品は市場シェアNo.1

企業データ連携

市場No.1

(出荷本数)

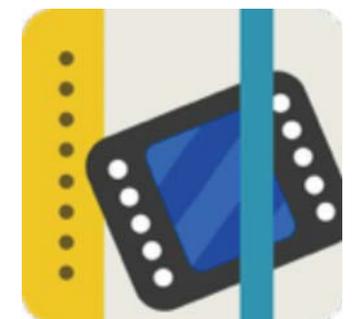


出所：テクノシステムリサーチ社

モバイルコンテンツ管理

市場No.1

(出荷金額)



Handbook



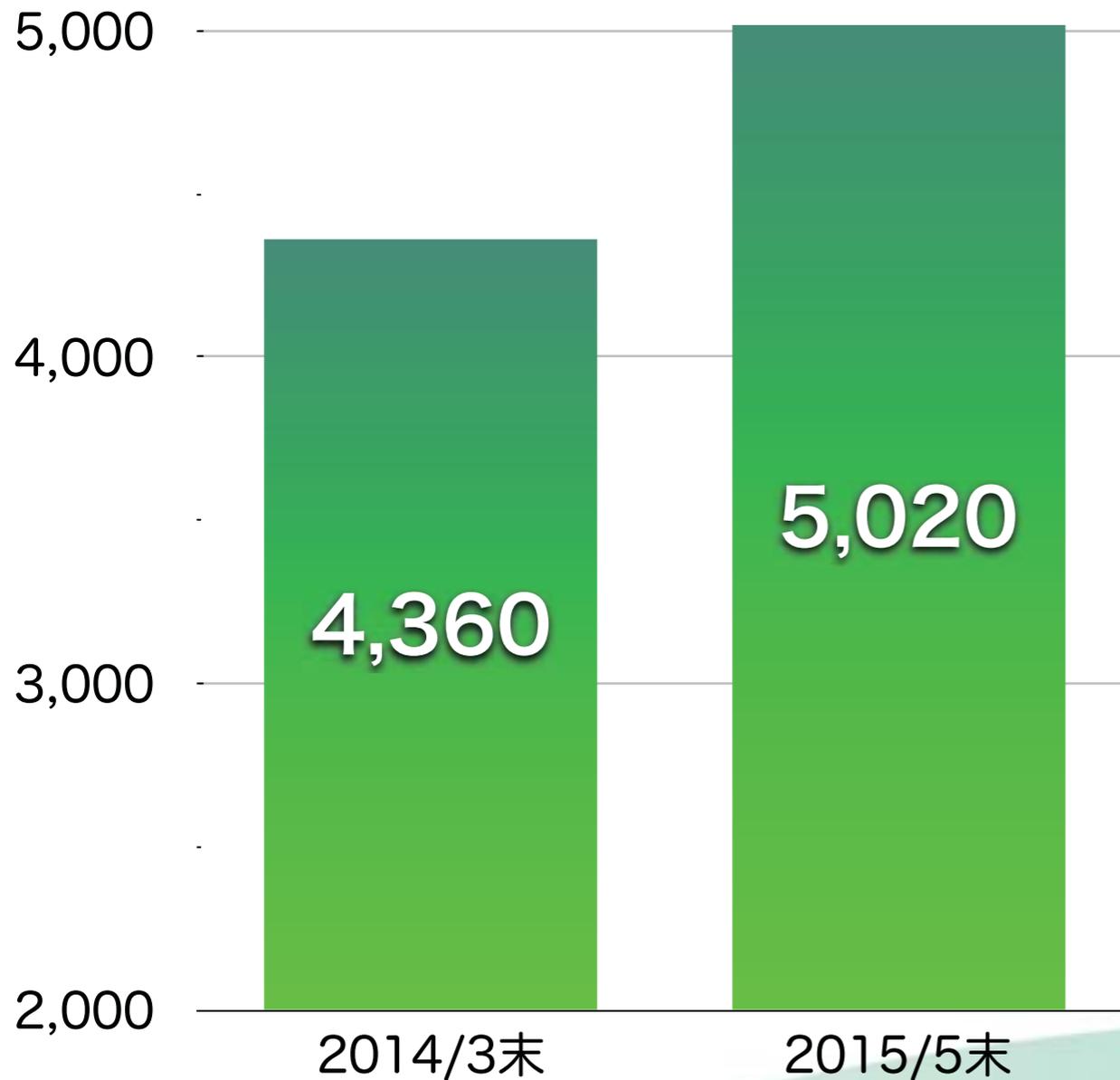
出所：ITR Market View



導入社数が5,000社を突破

(単位：社)

ASTERIA導入社数推移



- 2002年6月に出荷開始
- 初年度導入社数20社
- 2014年度導入社数566社

■ 累計導入社数

5,020社

2015年5月末現在



重点施策①：エコシステムの拡充

20社

マスターパートナー

ASTERIAベース
のシステム構築と
ASTERIA販売

テクニカルパートナー

ASTERIAベース
のシステム開発

9社



asteria warp
Business Automation Platform

57製品

ASTERIAと
連携する
ソフトウェア製品

ASTERIA用
アダプタの開発

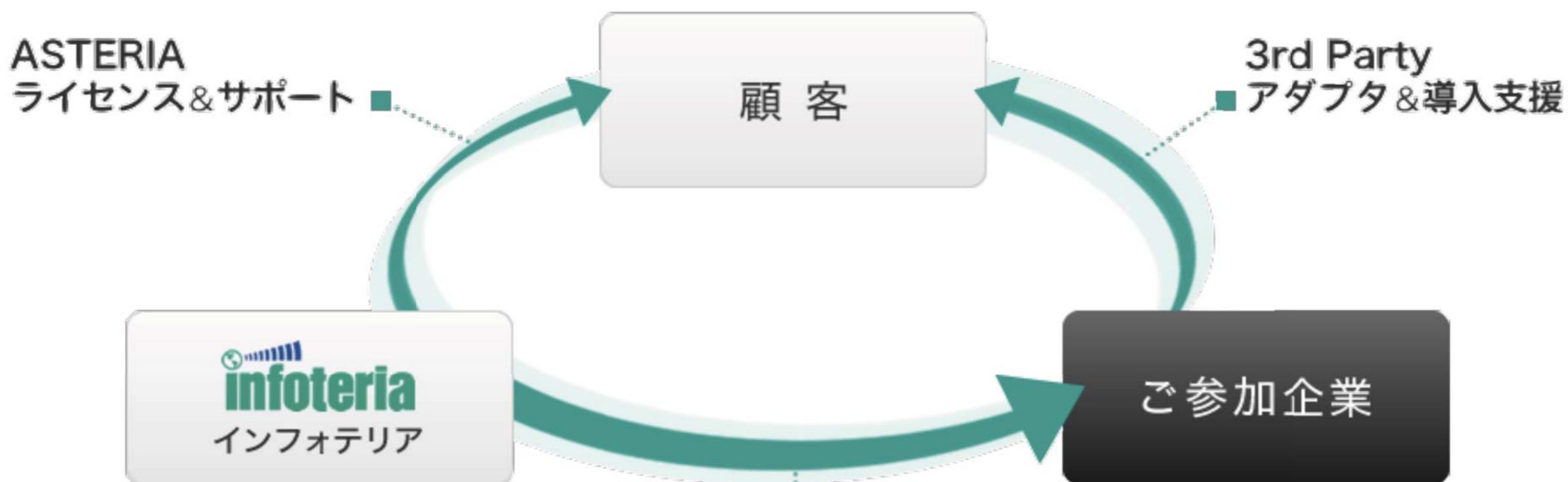
新設

@WARP

アダプタ開発
プログラム

アダプタ開発プログラム

- サービス提供会社、ソフトハウスのASTERIA関連ビジネス参入を支援



開発ライセンス&プロモーション支援など

重点施策②：ユーザー会の発足

- ユーザー同士を「つなぐ」
- ユーザー中心のコミュニティ
- ASTERIA活用情報交換
- 2015年度内に活動開始



重点施策③：従量課金型を定着

- クラウド時代にマッチした「月額使用料型」で提供を開始

構成製品およびサービス	ライセンス	サブスクリプション
ASTERIA Server	<div style="background-color: #4a7c59; color: white; padding: 20px; text-align: center;"> <p>新規市場 大きな 成長見込む</p> </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; text-align: center;"> <p>24万円/月</p> </div>
ASTERIA Designer		<p>月額使用料に含む</p>
アダプタオプション		<p>無償提供 キャンペーン※2</p>
技術サポート		<p>月額使用料に含む</p>

※1：Designer 5 開発者分含む

※2：2015年6月ご契約分まで

弛まない製品強化

- 年1回ペースでの着実な機能強化
- エクスペリメンタルビルドでのタイムリーな機能提供

史上最強のASTERIA

4.9

4.0

- 第4世代登場
- デザイナーの機能を強化し、開発効率を向上
- 簡易データ連携WARP Liteの提供開始

4.1

- 開発キットを整備、カスタム対応強化
- 各種新パイプラインアクションを追加
- パイプライン機能のUIを強化

4.2

- 100項目以上のフィードバック対応
- Excelコンポーネントの機能強化
- RDB XA (2フェーズコミット) 対応
- XBRL機能の強化

4.3

- 大規模開発、ITガバナンスへの対応強化
- バージョン管理連携機能、フロー差分比較ツール
- パイプラインコーディネータのファイル操作機能
- セキュリティプロトコルへの対応

4.4

- システム開発・保守の見える化強化
- フローマッパーシミュレータ・デバッグ搭載
- チャート作成機能強化

4.8

- クラウドサービス対応強化
- 大規模データ・ビッグデータ管理インターフェイス

4.7

- 大規模構成
- 堅牢性・パフォーマンス
- クラウド最新技術

4.6

- スマートデバイス
- SharePoint対応
- パフォーマンス向上

4.5

- クラウド対応、Win Azure、AWS対応
- Excel XSLX形式対応
- RDB Insert、Update高速化

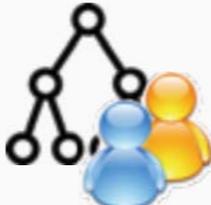


■ 最新版ASTERIA WARP 4.9を2015年3月に出荷

テーマは、

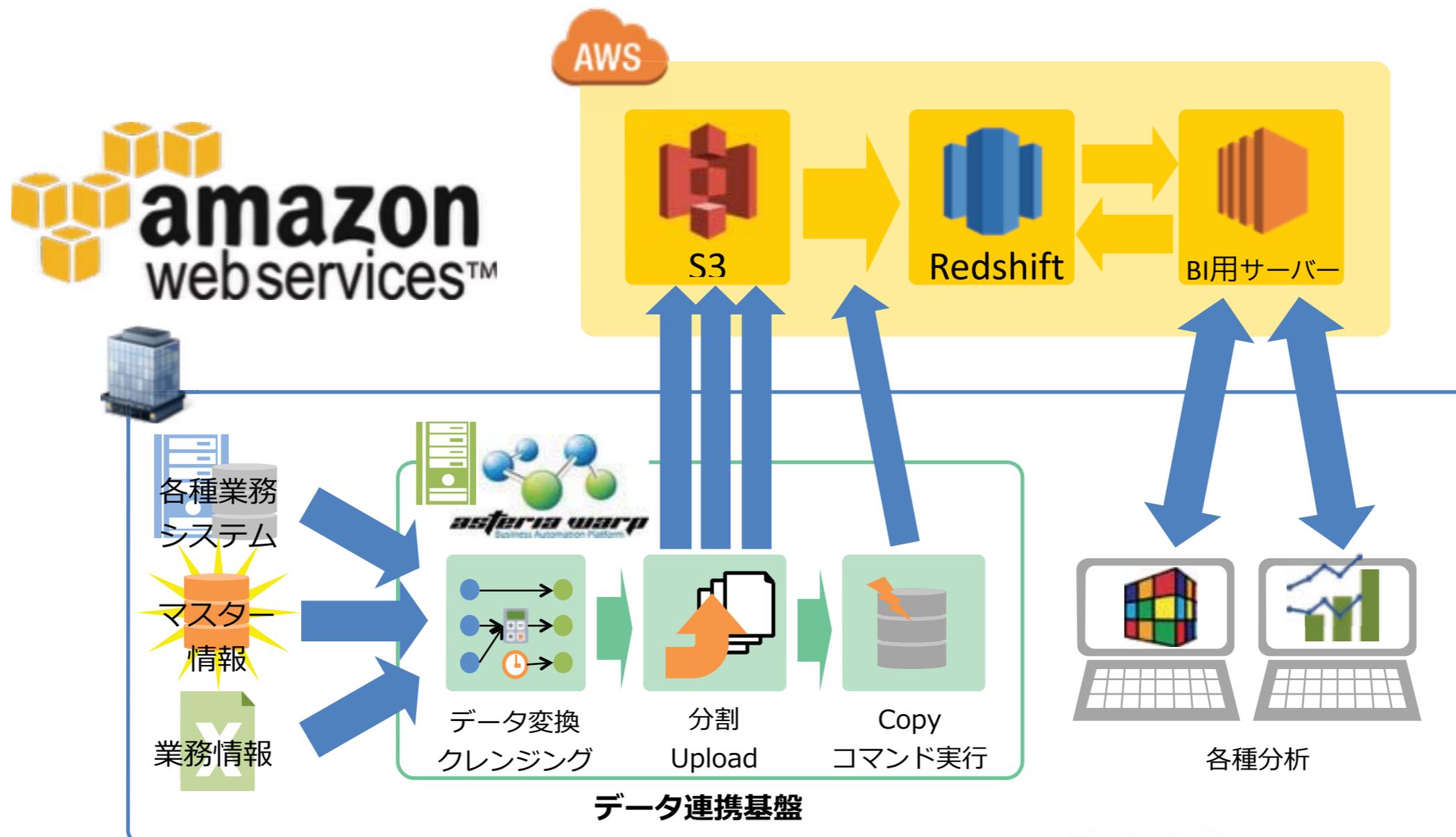
「共存協栄」

共に在り、力を合わせ栄える

 <h3>クラウド最新技術</h3>	 <h3>使い勝手の向上</h3>	 <h3>ニーズに応える</h3>
<p>クラウド最新技術を ノンプログラミングで</p>	<p>既存機能もさらに 簡単に使いやすく</p>	<p>現場のニーズに きめ細かな対応</p>
 <h3>ビッグデータ処理を 支えるRedshift アダプタを追加</h3>	 <h3>Active Directory アダプタ改良</h3>	 <h3>Excelアダプタ 機能改善</h3>
 <h3>急成長国産クラウド kintoneアダプタを 追加</h3>	 <h3>Notesアダプタ 改良</h3>	 <h3>Tar, Untar, Exif アダプタ追加</h3>

Amazon Redshiftアダプタ

- Amazon Redshiftでのビッグデータ処理をノンコーディングで実現



kintone アダプタ

- kintone（サイボウズ社）のデータ連携をノンコーディングで実現

8つのコンポーネントで構成



記者発表会にてサイボウズ青野社長と

tableau アダプタ

- tableau のデータ連携をノンコーディングで実現



誰でも使える
データ分析ツール

Sansan アダプタ

- Sansanのデータ連携をノンコーディングで実現
- 「アダプタ開発プログラム」第1号（開発：信興テクノミスト様）

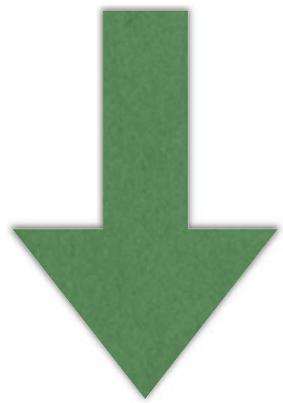


3年連続導入シェアNo.1
クラウド名刺管理

※配布資料参照

企業システムは真のSOAへ

従来謳われていたSOA (Service Oriented Architecture)



社内にEnterprise Service Busを置いて、システムをWS-Servicesで繋いでいく。

クラウド上の「マイクロサービス」を繋いで使うアーキテクチャ

サービスや機能はどんどんクラウド上に存在するようになる。社外にあるクラウド上のサービスや機能を繋いでシステムを組み立てていく。



クラウド・サービス連携もASTERIA



bodais

API

API

API

アダプタ群

API



kintone
on cybozu.com

API

API



API



API

Cloudⁿ



API

アダプタ群

API

API

API

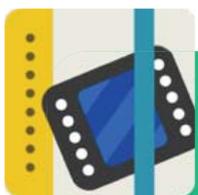




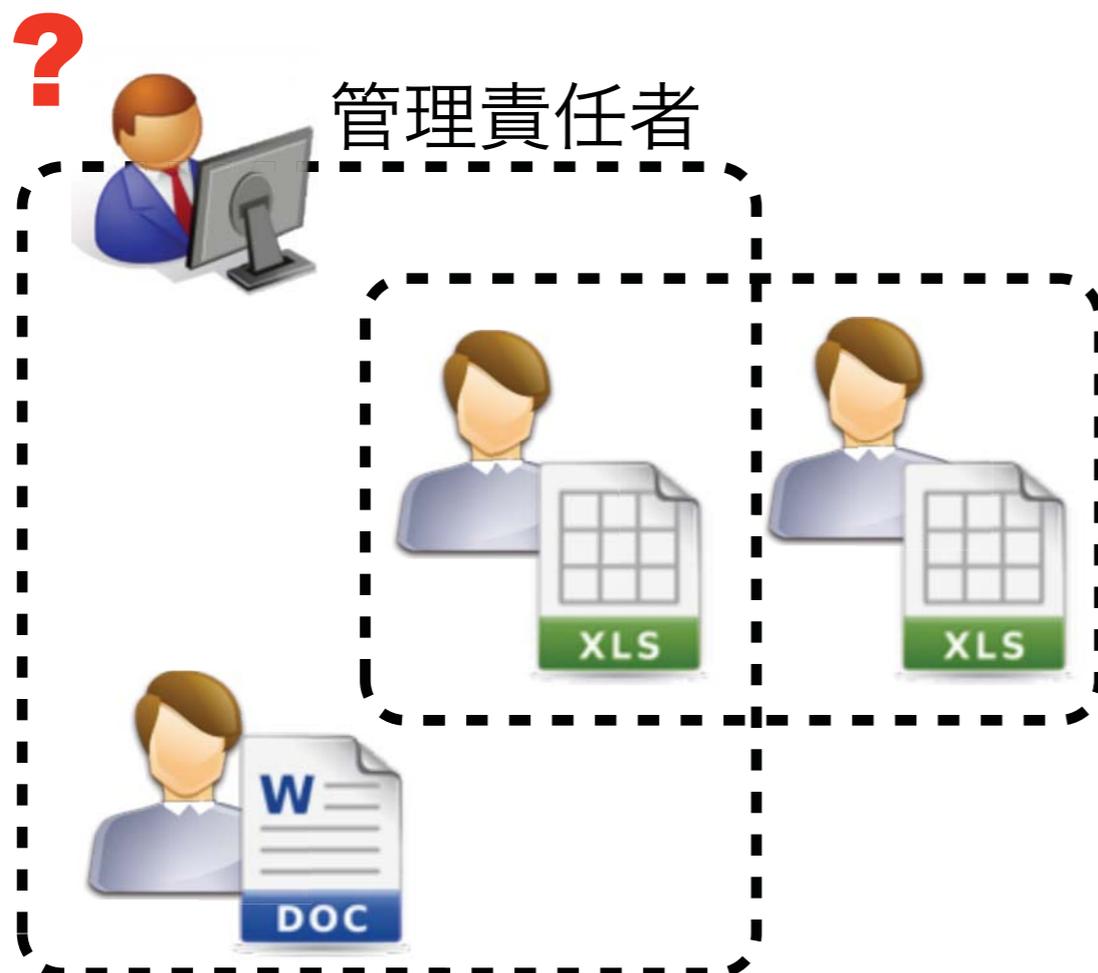
Handbookとは？

- モバイル端末で利用されるデジタルコンテンツを体系的に管理・配信する

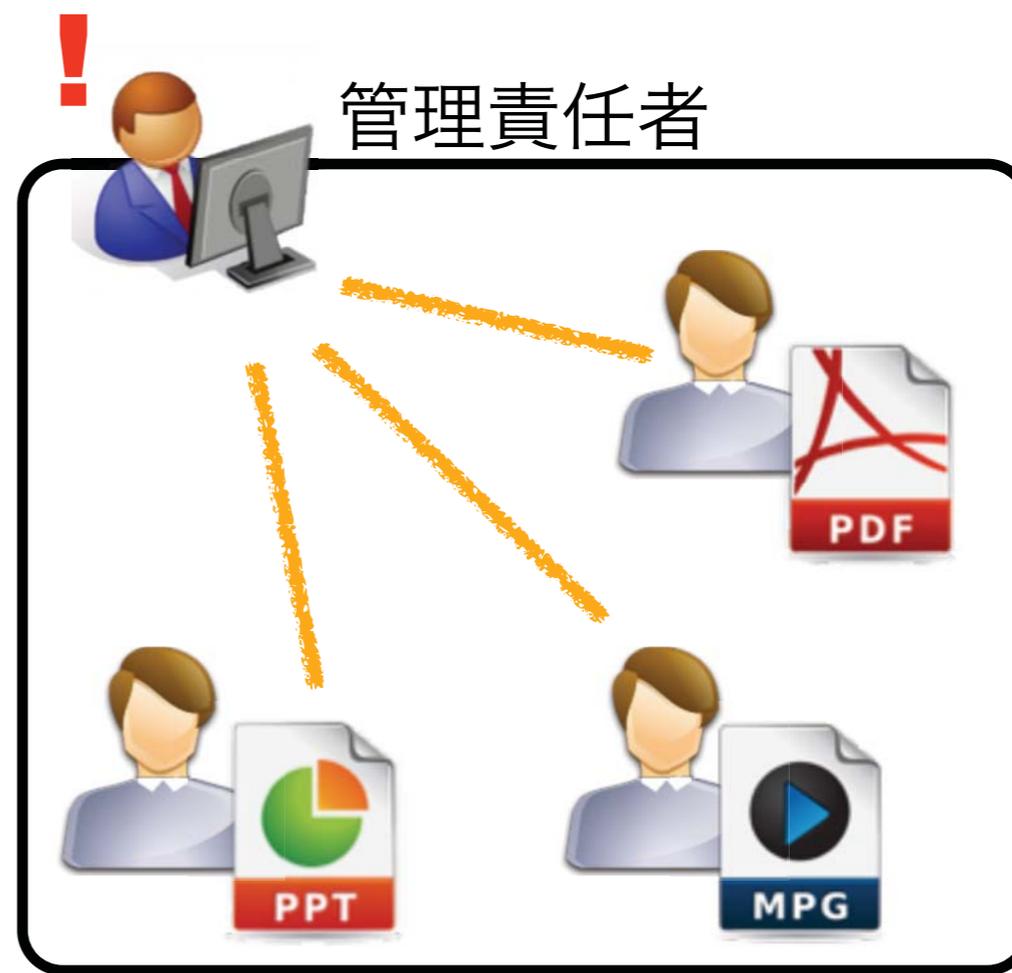




メールやファイル共有では不十分



ファイル共有



Handbook

利用者は制約なくファイルを共有できて漏洩の危険性が高い
管理者は共有の状況を把握すらできない



マルチOSサポート

iOS (Apple)



Windows (Microsoft)



Android (Google)

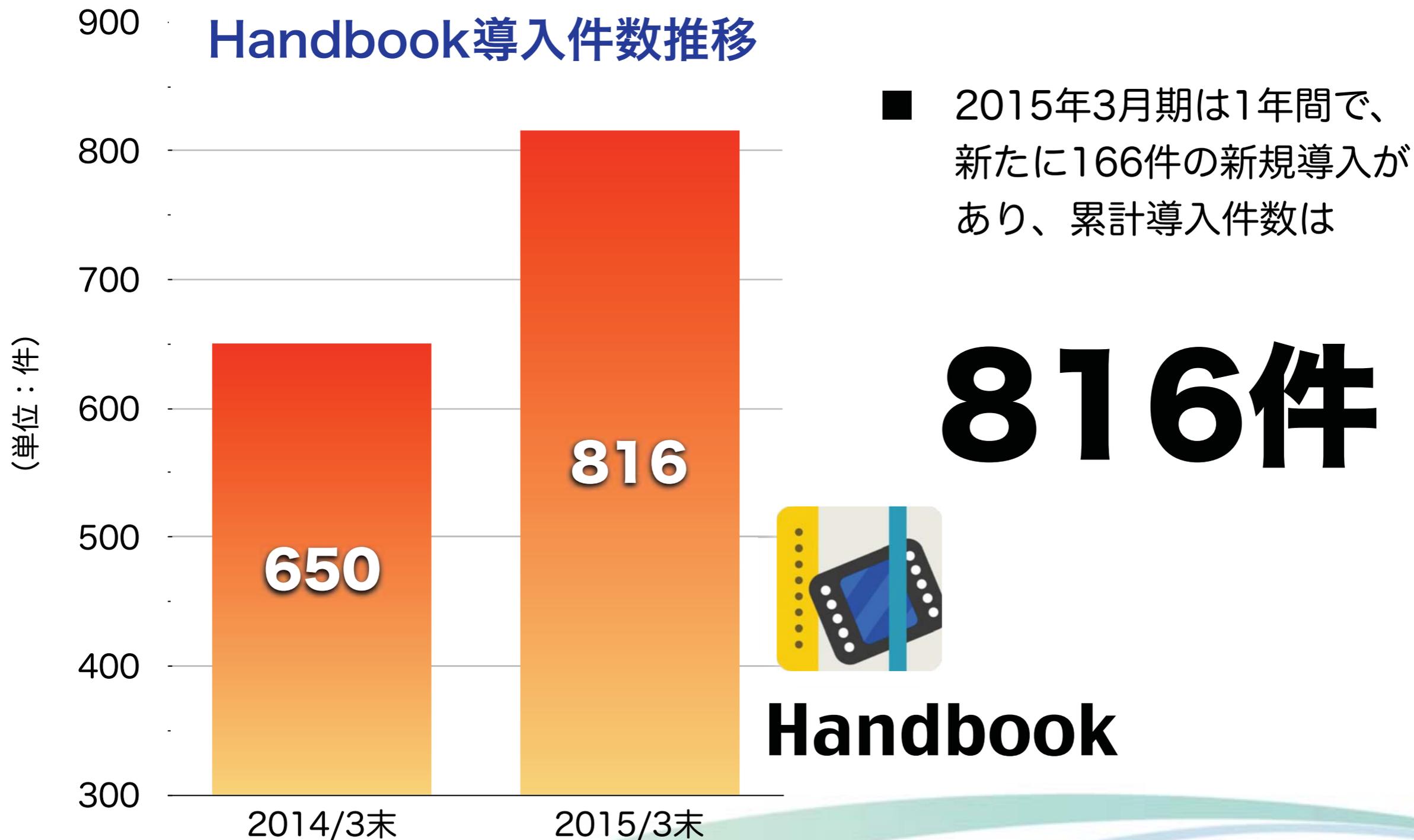


Fire OS (Amazon)





Handbook導入件数が着実に増加





先進の導入事例が充実

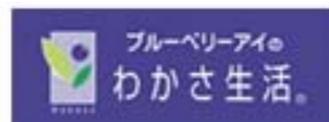
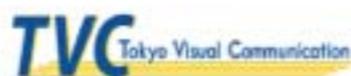


野村パブコックアンドブラウン株式会社



SEIKO PRECISION (Thailand) Co.,Ltd.

株式会社 三景





事例：アクティブ・ラーニング

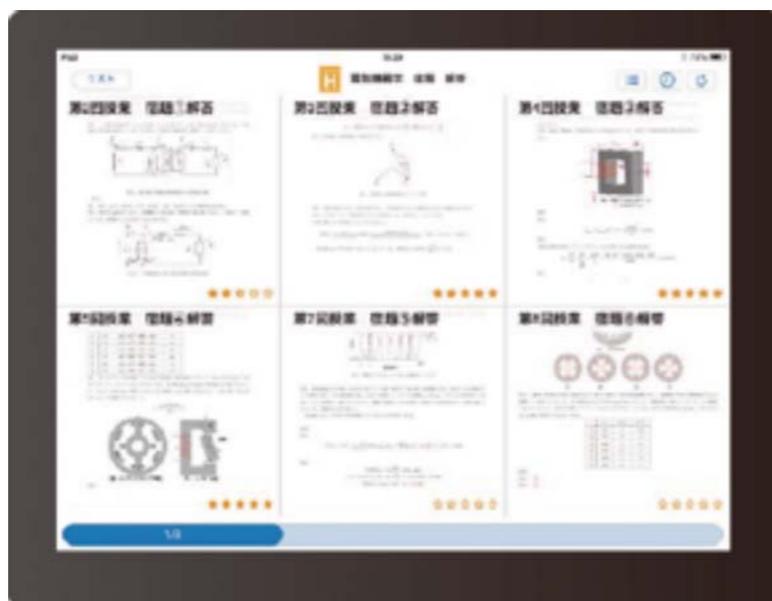
「Handbook」を活用し学生の成績を向上



- 学生自身のスマートデバイスを活用し、アクティブラーニングを実現



東京工業大学
大学院理工学研究科
電気電子工学科長
教授 工学博士 IEEEフェロー
千葉明氏



学生はスマートデバイスを使って問題に解答。正解者は登壇して解説役を務める。板書中心になりがちだった講義が、Handbookにより双方向のやりとりを伴うものに。



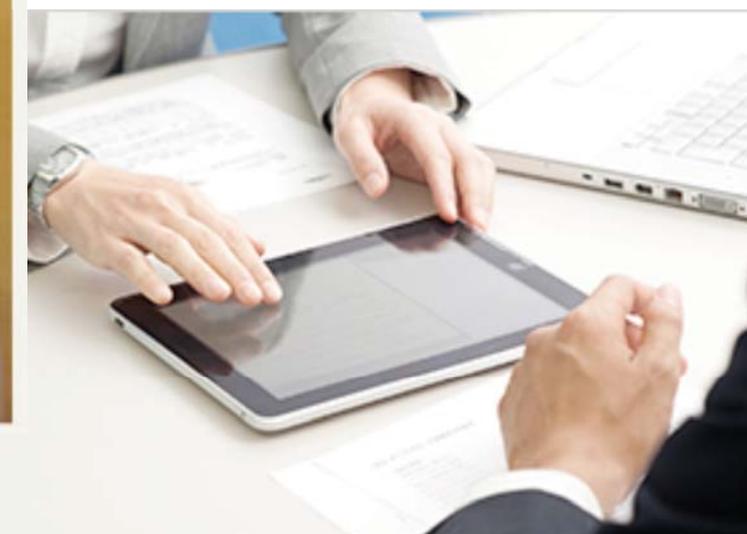
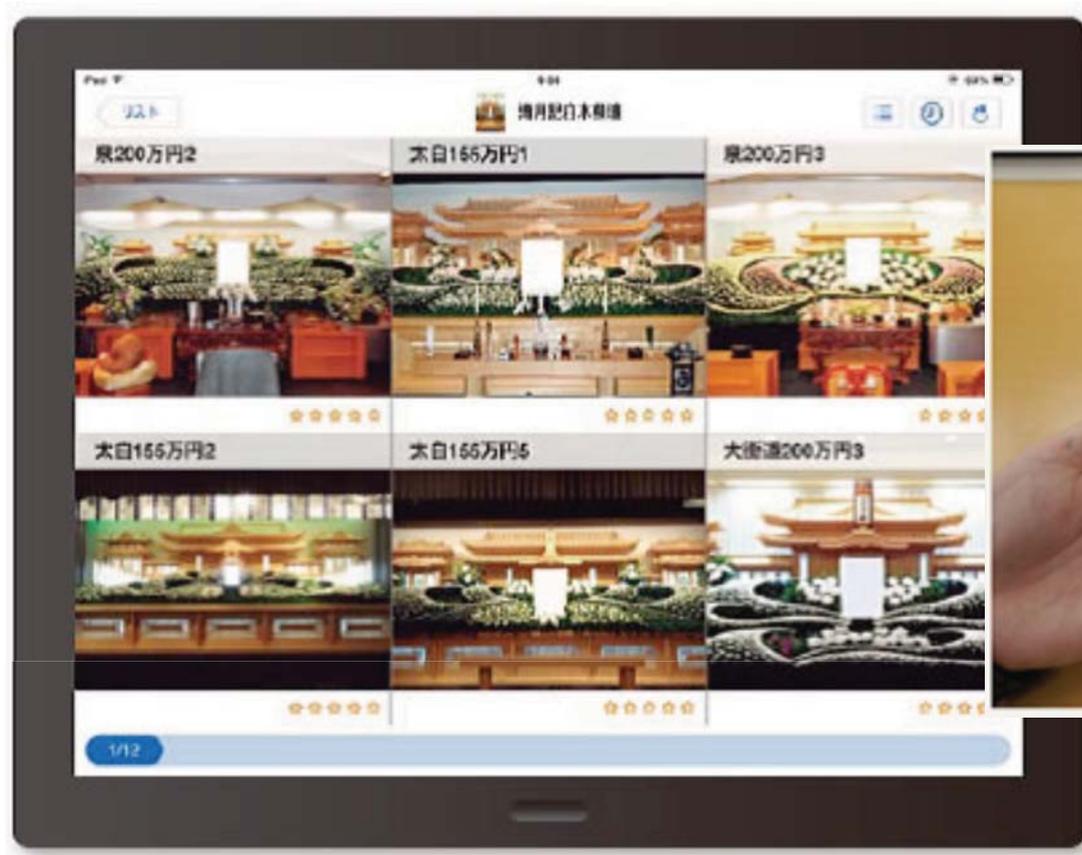
事例：葬儀打ち合わせ、「終活」

葬儀打合せに「Handbook」を活用し 顧客満足度を向上

各種祭壇、棺、ギフト、料理写真を配信し、バリエーションに富んだ写真の中からご遺族の理想に近い葬儀を選択。「終活」がブームになるなかで葬儀イメージをビジュアル化し顧客満足度の向上を実現。



株式会社 清月記
一級葬祭ディレクター
業務部 部長
西村 恒吉 氏





事例による定量的効果測定

- * 「変革」が目的のアーリーアダプターは成果が数値化されにくい
- * 「効率化と改善」を重視する**アーリー・マジョリティ**は数値化を必要とする



訪問件数 **1.5倍**



訪問準備時間

13.3分/回 削減
宿題持帰り **1.2回**削減



NIHON TRIM CO.,LTD.

成約率 **2倍**



資料制作期間

1ヶ月から1週間に

野村証券

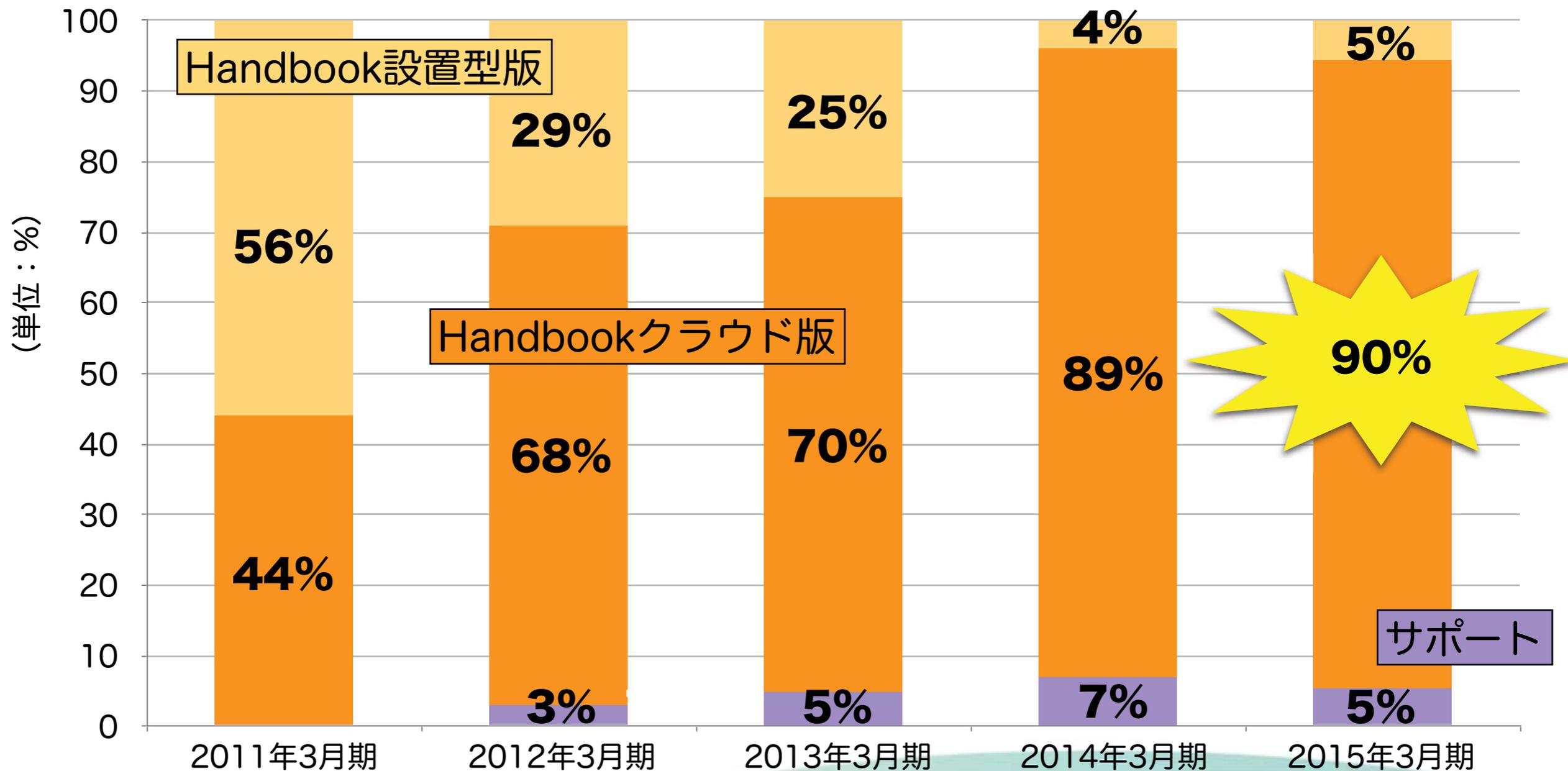
セールスサイクル **1/3に**

出典：当社Handbook導入事例



クラウド版比率が90%を超える

Handbook売上比率推移





重点施策①：販売チャネルを拡大

- 幅広いお客様に対して Handbookを提供するチャネルを拡充
- Handbookの利活用を促進するエコシステムを推進

トータルパートナー

提案から導入、サポートまでをトータルで提供

21社



など

11社

商材の一つとしてお客様に提供
(中堅・中小)

セールスパートナー

Handbookの利用価値を上げる独自の製品を提供

パリュープラスパートナー

9社





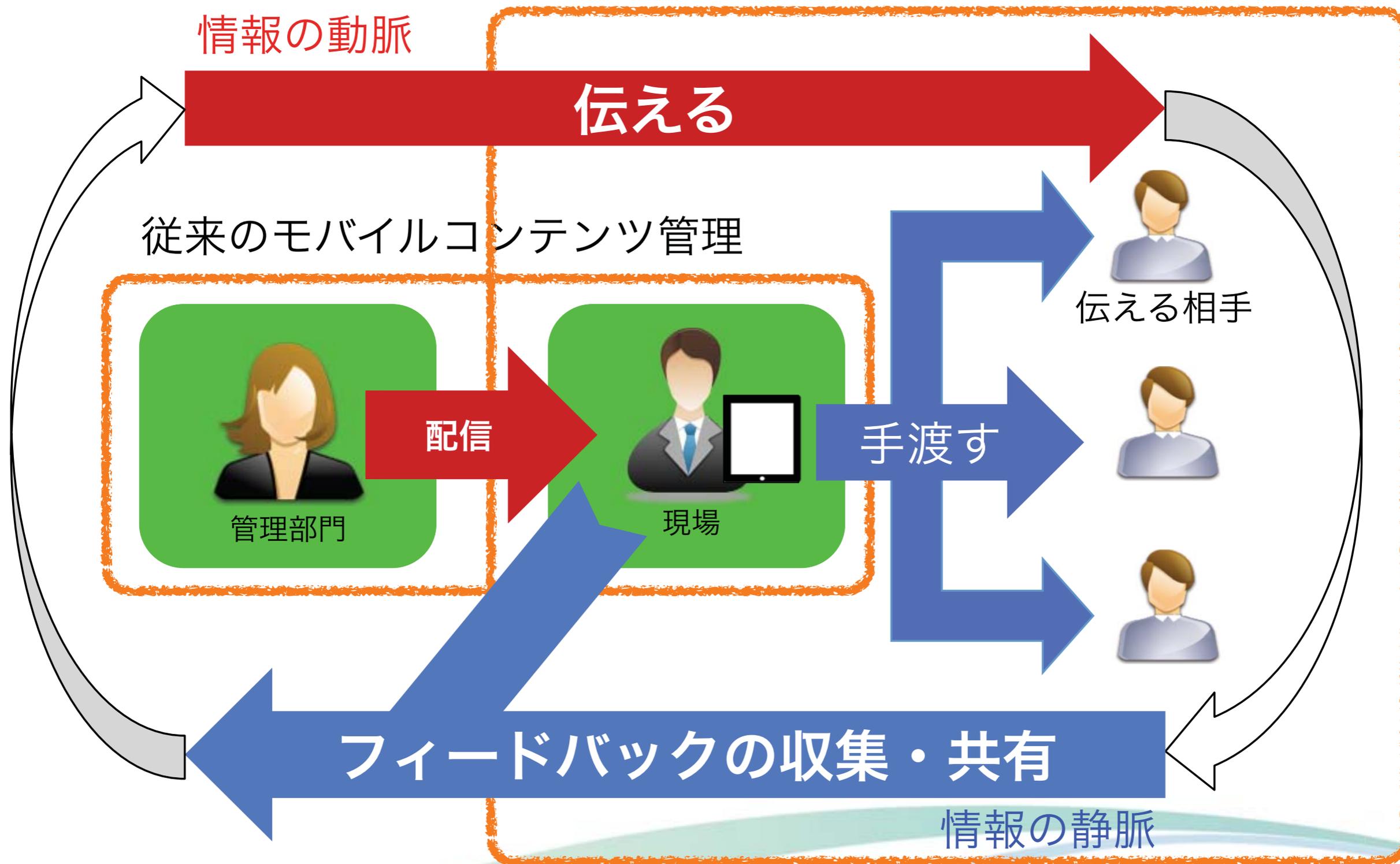
重点施策②：インサイドセールス

- クラウド時代にマッチした、ハイタッチな営業手法
- お客様のステージに応じた問題解決・提案
- 新年度からスタートしすでに計画以上の成果





重点施策③：「伝える力」の強化





デジタル化は組織内から組織外へ

組織内

コンタクトポイント

組織外

情報統制



式場

オプションなど

どの式場？
どのオプション？



企画

配信



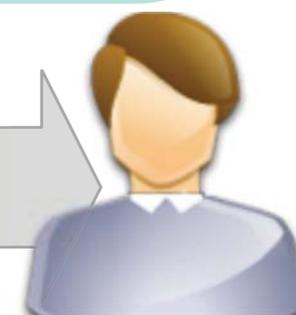
営業

「ブックドロップ」



顧客

見せる



パートナー

カスタマイズして
手渡し可能



「リアル」シーンのデジタル化を促進

＊ 既にウェブ経由で実現しているデジタルコンテンツ活用がリアルの領域へ

	社内	顧客接点	顧客コミュニケーション
--	----	------	-------------

ウェブ



リアル





全てのワークシーンでデジタル化が進む



“オフィス”

外部との会議の多い
経営部門、企画部門



“セールス”

店舗や訪問先での
営業、販売、接客などの
対顧客活動



“フィールド”

工場や建設現場、輸送機内、
顧客先などでの製造、運搬、
保守などの対商品活動

PCとの併用

これまでPCを使っていない

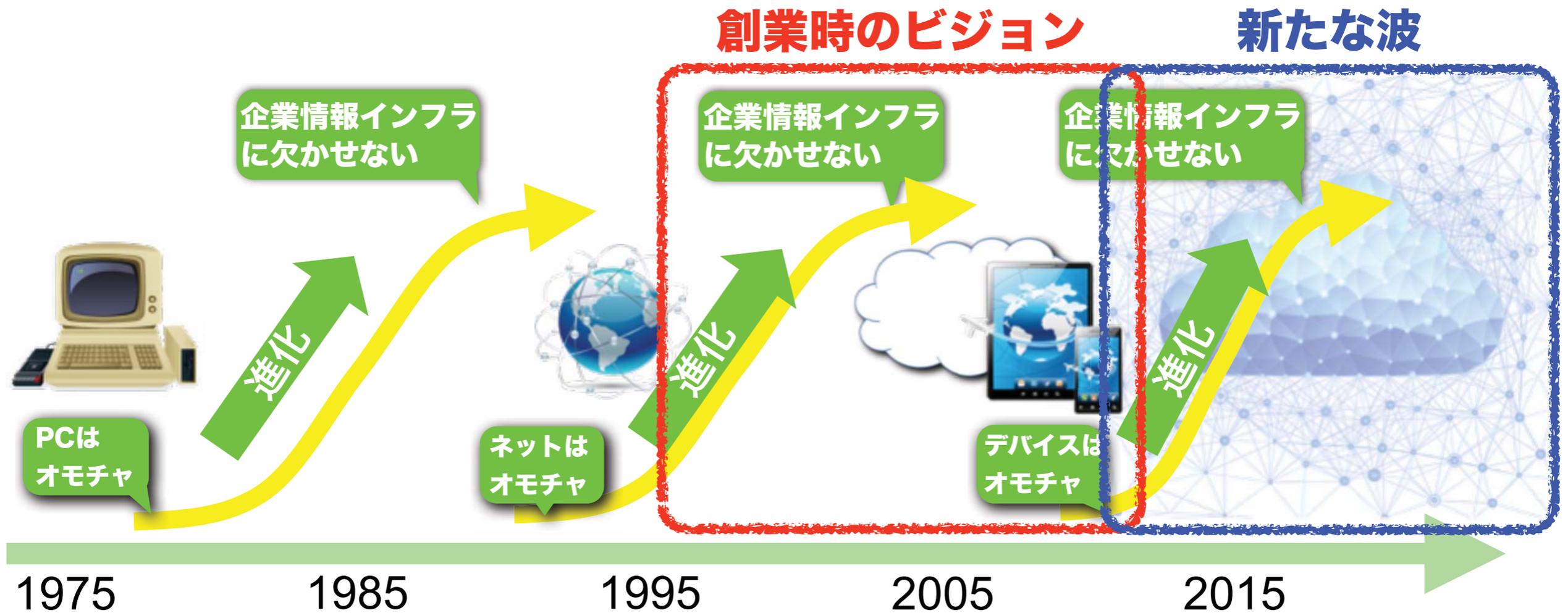
(自由様式)

紙の置き換え

(定型様式)

普及の進展方向

これからのインフォテリア



- ①インターネット環境の整備・高速化
- ②クラウドの台頭
- ③スマートデバイスの台頭

**世界展開が容易かつ
同時に可能に**

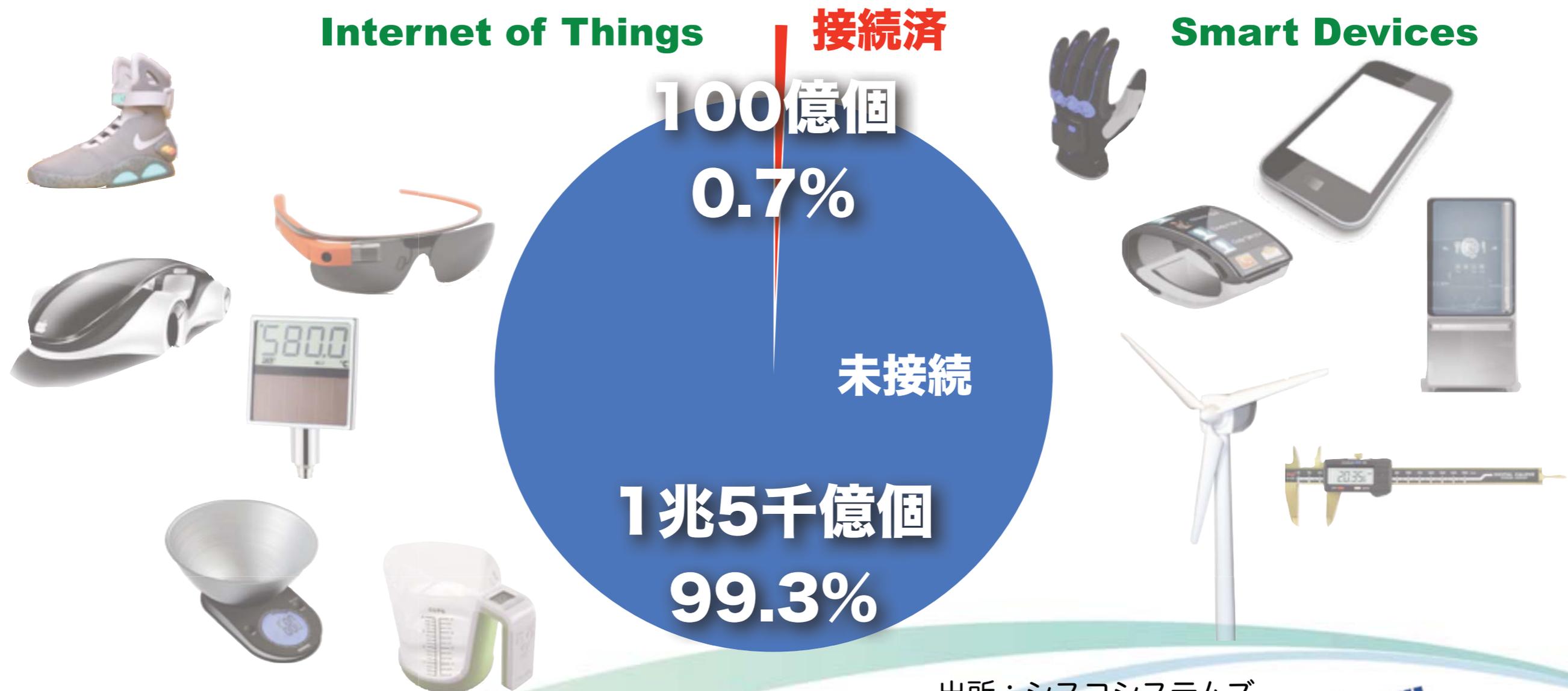
クラウド化の結果…

**企業の持ち物は
データだけに**

ハードウェアも、ソフトウェアも、
ネットワークも借り物に。

デバイスの台頭

PC中心の衰退

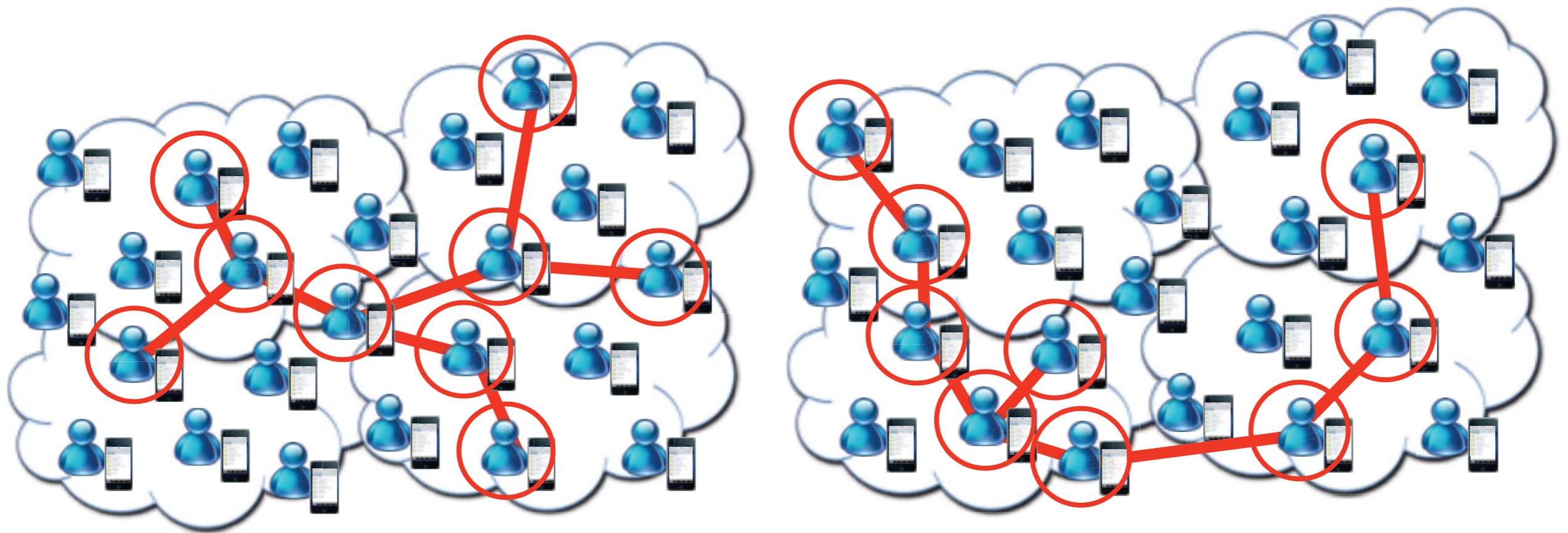


出所：シスコシステムズ



企業・事業のトライブ化

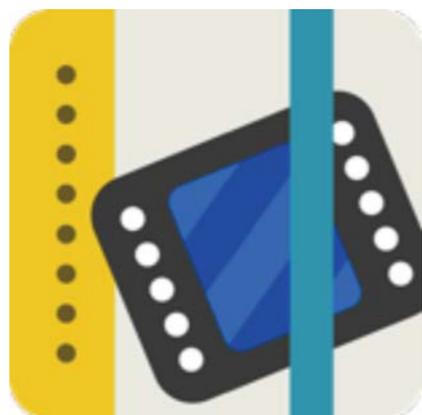
企業・事業のAPI化



さらに広がる「つなぐ」



システムをつなぐ



ヒトをつなぐ



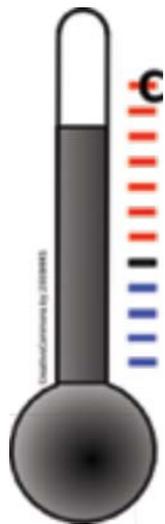
モノをつなぐ

Gravity
(開発中)

さらに広がる「つなぐ」

モノのインターネット

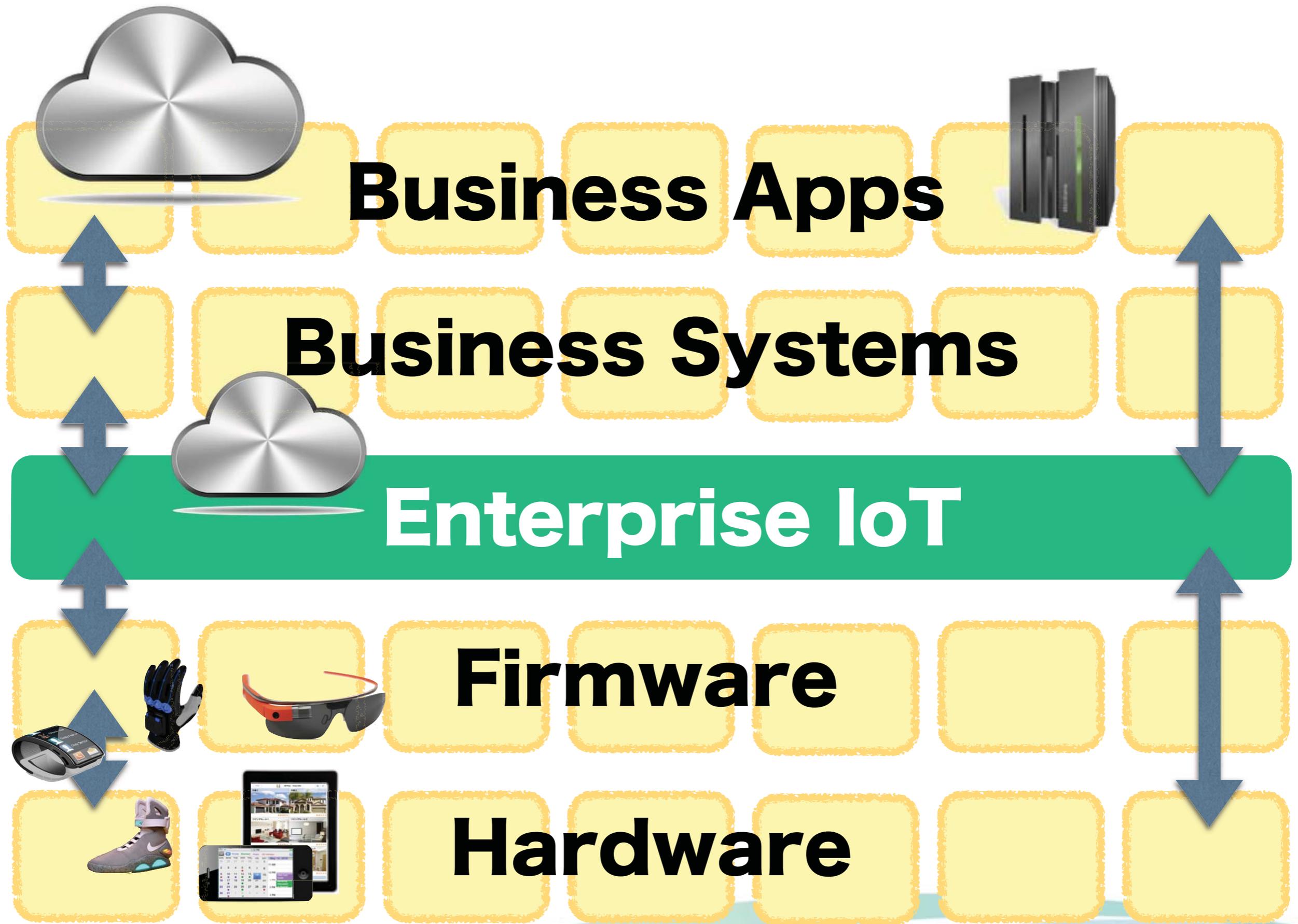
Internet of Things



インフォテリアは 何をやるのか？

Enterprise IoT

ノン・プログラミングで
PC無しで



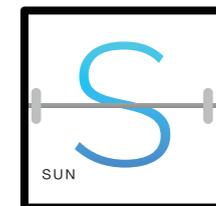
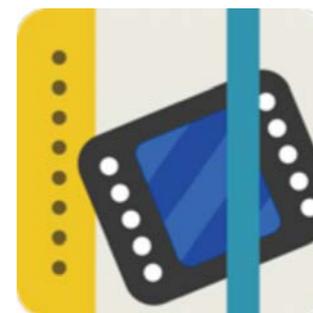
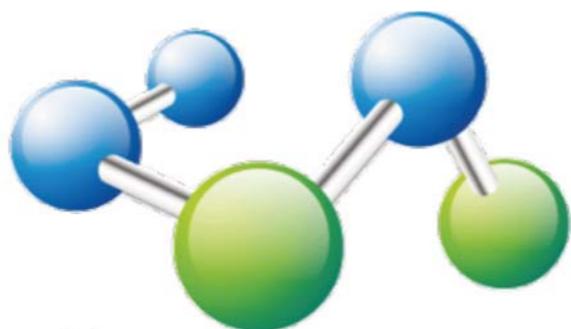
データ処理の3段階をカバー

入力/収集

加工/連携

配布/出力

Gravity



asteria warp
Business Automation Platform



Enterprise IoT



Apple Watch対応最新情報

- 第1弾は、lino (リノ)
 - 全世界100万以上のユーザー
 - 第2弾は、SnapCal
 - カレンダー、ToDoなどを手元で管理
 - 第3弾は、Handbook
 - コンテンツ更新やメッセージを手元で
- WatchOSの機能アップに伴いさらに機能を強化予定。



Gravity最新情報

■ 当初はタブレット入力フォームツールとして開発

- デバイスの多様化、IoTの進化
- IoTもターゲットに入れて再設計
- 再スケジュール（当初より約2年遅れ）



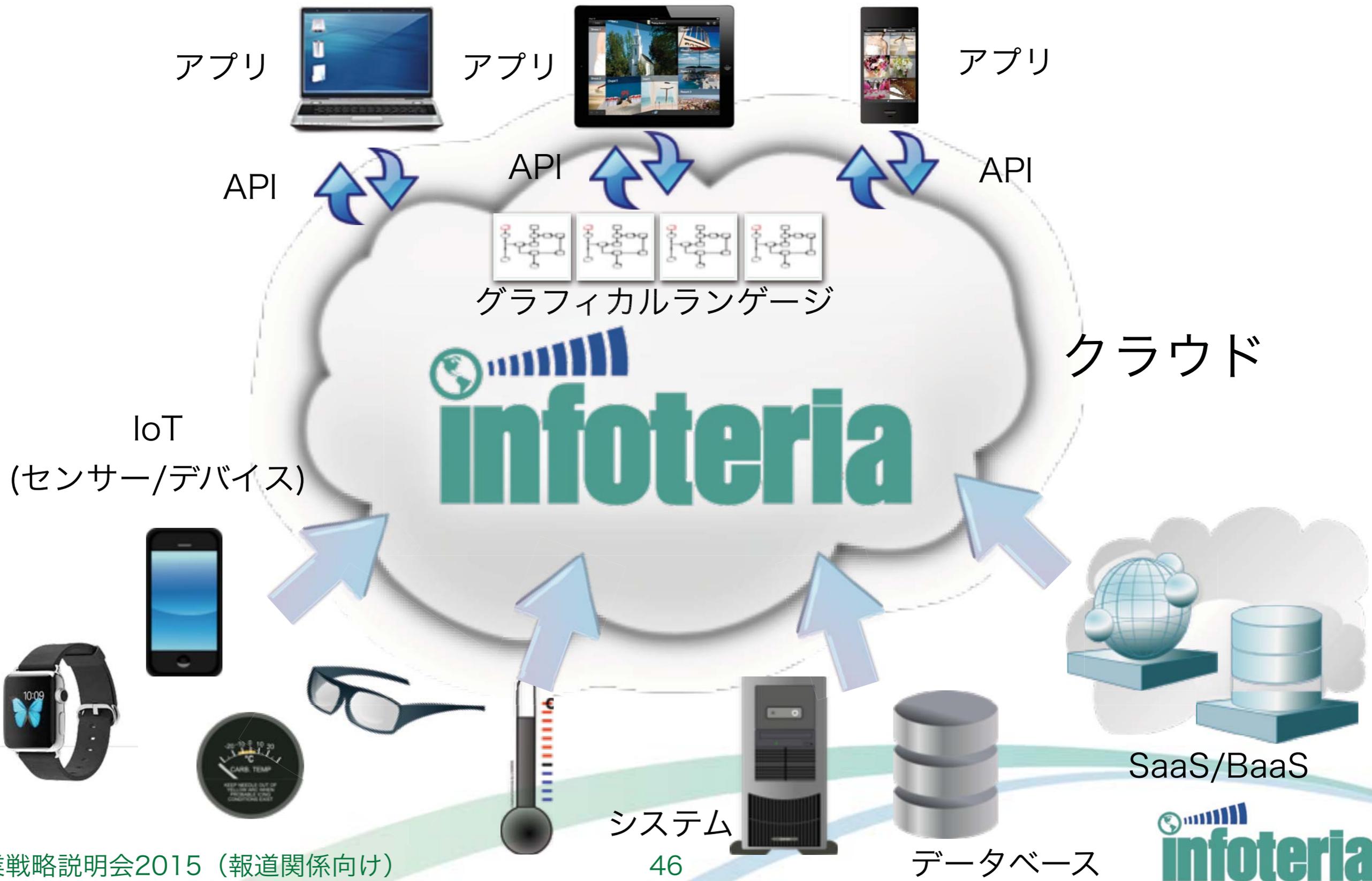
■ 複数モジュールで構成

- 入力系：デバイスのアプリ生成
- プロセス系：直感的な処理ロジック構成

■ スケジュール

- 2015年度中から順次提供開始予定

IoTを包含した企業システム構築基盤に



IoTスタートアップに投資

nuiimo by SENIC

reenvision what technology feels like



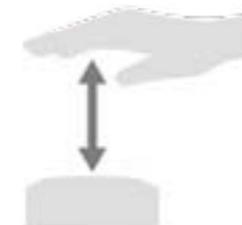
click



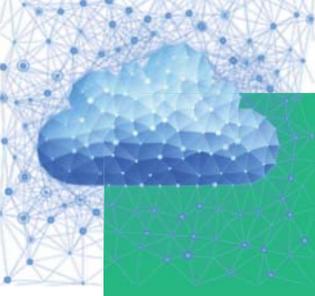
turn



swipe



fly



これからの製品の提供計画

- ASTERIA、Handbookのバージョンアップは、
最大市場である国内ニーズを優先
- 新しい製品は英語市場から投入

投資対象のフォーカス

N

et service

デバイス

モバイルを含むEnterprise IoT

E

nterprise

クラウド

データ中心時代の企業APIシステム

O

verseas

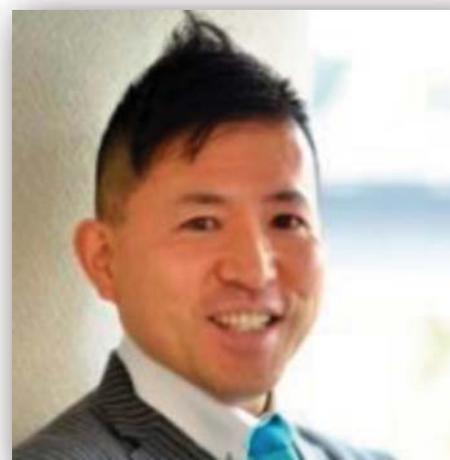
グローバル

新製品は英語版から投入

コーポレート

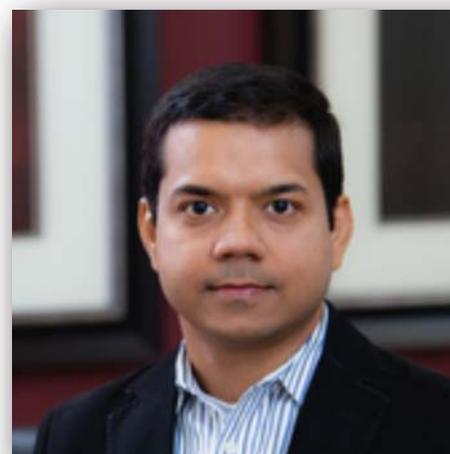
コーポレート・ガバナンス強化

- ✦ 社外取締役を過半数に
- ✦ モノ言う社外取締役（海外在住）を招聘
- ✦ 監査役を4名体制に
- ✦ 2015年5月の会社法改正に適応



田村耕太郎

- ▶ 国立シンガポール大学兼任教授
- ▶ 米国Milken InstituteのFellow
- ▶ 元参議院議員



Anis Uzzaman

- ▶ シリコンバレーに本社を置き、世界5ヶ国に拠点を持つ、Fenox Venture CapitalのCEO。

取締役・執行役員



平野洋一郎

- ▶ 代表取締役
- ▶ 執行役員 社長
- ▶ 当社創業者



北原 淑行

- ▶ 執行役員 副社長
- ▶ 研究開発総責任者
- ▶ 当社創業者



田村耕太郎

- ▶ 国立シンガポール大学兼任教授
- ▶ 米国Milken InstituteのFellow
- ▶ 元参議院議員



齊藤 裕久

- ▶ 執行役員 コーポレート本部長
- ▶ 経営管理総責任者



Anis Uzzaman

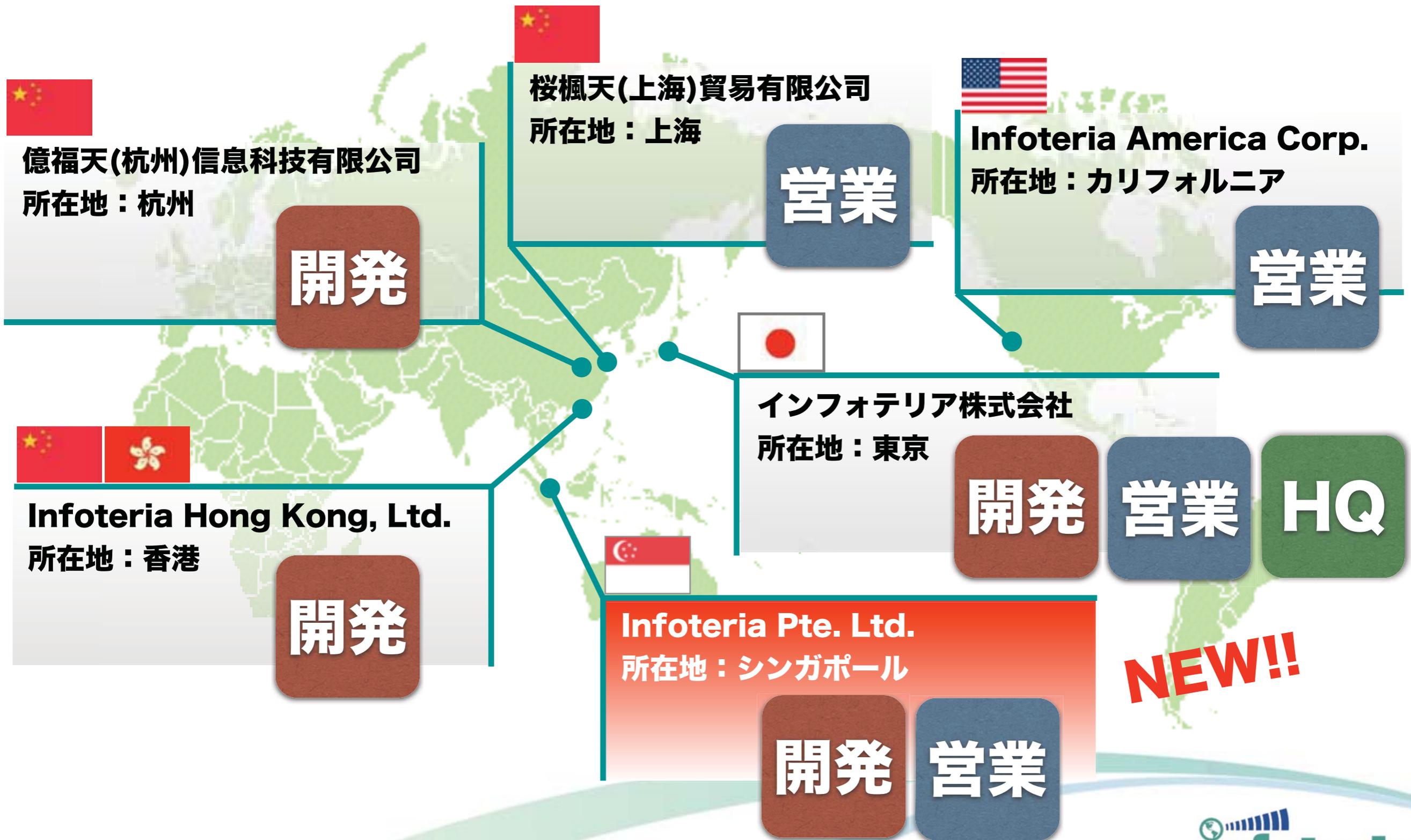
- ▶ シリコンバレーに本社を置き、世界5ヶ国に拠点を持つ、Fenox Venture CapitalのCEO。



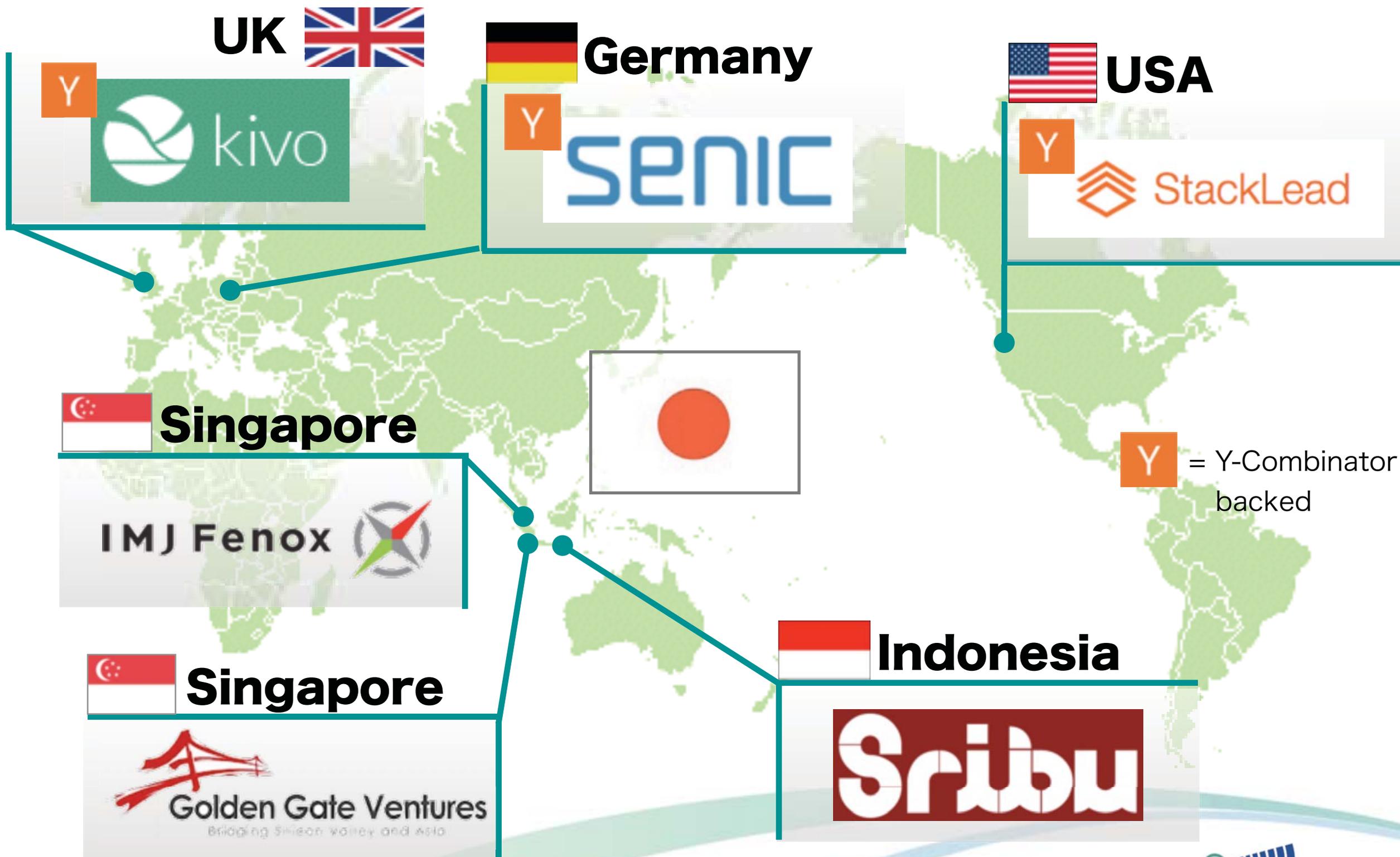
Sim Wong

- ▶ 執行役員 中国R&Dセンター担当
- ▶ 亿福天（杭州）信息科技有限公司 董事長
- ▶ 櫻枫天（上海）貿易 総経理

2015年度からIFRSを適用



海外投資にもIFRSは有効



インフォテリアのCSR・ESG

CSR = Corporate Social Responsibility

企業の社会的責任

ESG = Environmental, Social, Governance

企業がESGの課題に適切に配慮・対応すること、また、そのことを評価して投資する株主の存在が、地球環境問題や社会的な課題の解決・改善、さらに、資本市場の健全な育成・発展につながり、持続可能な社会の形成に寄与すると考えられています。（東証）

Infoteria Green Activity



熊本県阿蘇郡小国町

5,000本の樹木を管理

「ASTERIAの森」

Infoteria Green Activity



間伐材を活用したおもちゃ

「木育」

社員の子供、パートナー
の子供に配る

NPO支援活動「かものはしプロジェクト」



アジア地域での人身売買の抑止活動
支援金を通じて活動を支援

NPO支援活動 「F_{uture} D_{ream} A_{chievement}」



社会的弱者(引きこもり、ニート、うつ病)の社会復帰を目的に就労支援・トレーニングなどの活動



継続的なチャリティー活動「NIPPON IT 駅伝」など

ソフトウェアで世界をつなぐ

